

米國大藏本省職制并事務章程

2967



大藏本省職制并事務章程及手續大畧

大藏省

114  
A2313



米國大藏省規則

第一條

今日ヨリ省中諸寮出勤時間ハ午前第九時ヨリ  
午後第三時マテト定ム

若シ右出勤ノ時刻ヨリ遅参スルカ或ハ右時間  
引續キ事務ヲ取扱フ事ヲ怠ルモノアルトキハ  
各寮頭ノ下ニアリテ其事ヲ任セラレタル者日  
々之ヲ書留之ヲ寮頭ノ許ニ出シ頭其遅参怠慢  
ノ所以ヲ亂シ若シ其意ニ満タサルトキハ再ヒ  
其書留ヲ卿ハ許ニ申達スヘシ

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

第二條

凡ソ省中ニ出仕スル者出勤時間互ニ相往来シ  
或ハ外人ノ訪問ヲ待ツヲ許サス  
新聞紙ヲ讀ミ煙草ヲ喫シ酒類ヲ用フルト一切  
之ヲ禁ス

第三條

省中ノ官員毎歲十二ヶ月間一ヶ月ノ暇ヲ乞フ  
トヲ得一ヶ月ヲ越ルルハ其免許ヲ得ル得サル  
ニ拘ラス給料ヲ典フルヲ許サス  
病氣ノ外ハ許可ヲ受ケスシテ出勤セサル者ハ

其職ヲ免スヘシ尤病氣ノ節トイヘトモ必其診  
ヲ託スル醫者ヨリ初日ヨリ快復ノ日マテ尋問  
セル證書ヲ差出スヘシ  
若シ醫者ノ診ヲ乞ハサルハ其病タルヲ證ス  
ル證據ヲ差出スヘシ  
凡ソ暇ヲ乞フノ願書ハ其拝命ノ月日ト前年不  
勤ノ日數トヲ書添ヘテ出スヘシ

第四條

凡ソ各寮ノ頭ハ毎月初日ニ其屬官ノ前月中不  
勤ノ日數及其人名并其請暇ヲ許可セル所以ヲ

記セル書留ヲ大藏卿ノ許ニ出シ毎月第五日ニ  
ハ前月中其属官ノ為セシ所ノ事業ヲ記載セル  
書留ヲ出スヘシ

第五條

公務ノ遲滞ヲ防クカ為ニ省中官員ノ外ハ何人  
タリトモ卿、大少輔、大丞、各寮頭或ハ各寮属長ノ  
許可ヲ得ルニ非レハ一切本省及諸寮枝省等ノ  
各室ニ入ルヲ許サス

第六條

凡ソ國債證券、紙幣ヲ製造スルノ処及ヒ紙幣ヲ

計算スル處ニハ其室中ニ出勤スル者ノ外一切  
立入ヲ許サス且古ノ事ヲ取扱フ所ニ室或ハ三  
室互ニ相通フルモ、ハ其課ノ長官ノ居ル所ニ  
アル戸口ヲ出入ノ所ト定メ他ノ口ハ之ヲ閉シ  
置クヘシ

第七條

毎日二時ノ後ハ省中官員ノ外何人タリトモ卿、  
大少輔、大丞、諸寮頭ノ指圖ナレニ省中ニ入ルヲ  
許サス

録属等ハ公用アリテ来ルキハ閉省ノ後モ入ル

トヲ得ヘシ其他ハ省外ノ人ノ如ク心得ヘシ

第八條

凡ソ各寮トモ用事アリテ来レル外人ハ先各其寮頭或ハ大丞ニ請フテ然後入ルヲ得ヘシ

第九條

公務取扱ニ就テハ一切之ニ携テサル者ニ知告スルトヲ得ヘカラス殊ニ無用ニ其事ヲ告クヘカラス

第十條

毎朝郵便ニヨリテ受取リタル事務ハ成丈一日

間ニ之ヲ辨スヘシ無用ニ遲滞スルヲ許サス若シ一日ニ辨スル歟ハサルモノハ其受取タル由ヲ回答ニ及フヘシ

第十一條

一切ノ原紙ハ丁寧ニ之ヲ貯ヘ置クヘシ如何ナルコトアリトモ之ヲ破却棄捨スヘカラス又集議院コールド、オフ、タレイムス或ハ他省ヨリ来レル書面ハ其中ニ載スル事柄ヲ寫シ取リ且其寫ヲ有セル人ノ名ヲ記シ置クニ非ルハ省外ニ出スヲ禁ス尚且台ニ載セタル院廳省ノ外如何様ノ事

アリトモ省外ニ出スヲ禁ス

第十二條

何人タリトモ卿、大少輔、大丞、或ハ寮ニ關スルト  
ナレハ其寮頭ニ前以テ願出テ其免許狀ヲ持スル  
者ニ非レバ一切省中書物ノ寫ヲ典フルヲ許サ  
ス又勘定書付證書其他省中ニ綴込ム所ノ書付  
類如何ナルニアリトモ之ヲ人ノ取扱人、代理人  
等ノ手ニ渡スニアルハカラス凡ソ省中ニ綴込  
ミ置ク書付或ハ省中記録類ノ寫レヲ乞フ者ア  
レハ左ノ千八百三十年十月二十日定ムル所ノ

規則ヲ照勘スヘシ

一切省中ニ綴込ミ置ク所ノ勘定書及他書付或  
ハ記録等ノ寫レハ唯其文面ノ事ニ關リタル本  
人ニノミ其乞ニ任セテ之ヲ典フヘシ若シ其事  
訴訟ニ典リ政府モ亦之ニ係リタルモノハ曩ニ  
事ニ典リタル合衆國政府代理人ニ其寫ヲ一見  
セシメ是ヨリ地方代理人ニ渡シ再ヒ大藏審司  
ノ手ニ渡シ政府ノ公事相手ニ知ラシムル所ノ  
事情ヲ心得シメ然後願人ノ手ニ渡スヘシ尤此  
願人ヨリハ必ス古寫ヲ乞フテ要用ナル旨ヲ記

セル證書ヲ納メシメサルヘカラス

第十三條

一切省中ニ用フル什具ノ新調復修ヲ七ヒ及諸帳餘白紙等ヲ受取或ハ諸紙ヲ印刷スルヲ七フトキハ各其寮頭ヨリ仕出ヲ作り大吏ノ免許ヲ得タル後ニ非レハ之ヲ調ヘ且備フルヲ得ヘカラス

第十四條

諸録、屬等ノ怠慢、不勤等ニ付テノ書上ハ千八百四十二年第八月廿六日ノ定例第十三章ニ載ス

ル如ク毎月之ヲ為スヘシ又給料多クシテ寡キ者ヨリ其才能劣ル者アレハ其由ヲ書上セヘシ是人ノ給料ノ專ラ其才能ノ優劣ニヨリテ定ムヘテレハナリ

第十五條

凡ソ省中ノ戸壁ニ書付ヲ貼シ文字ヲ書スル等一切嚴禁ナリ

右規則ニ違背スル者ノ書上ヲ為スノ務ハ重ク各寮頭ニ之ヲ任セリ殊ニ當今公務多繁ノ時ニ方テ之ヲ守ラシムルヲ尤肝要ナリ而シテ

大藏省



右規則ハ諸規則正シキ銀行等ニ於テ嚴守セ  
 シムル所ニ異ナラス尚且其會社等ニ於テハ  
 事務ヲ取扱フノ時間長キトモ能ク之ヲ守  
 ル所ナリ故ニ何人ニテモ之ニ違フ者アルキ  
 ハ更ニ恩憐ヲ加ヘス殊ニ知ラズ之ヲ犯ス者  
 レハ直ニ當人ノ職ヲ免スヘキナリ

於大藏省

一千八百七十二年七月一日

大藏卿 バウ トウ エル 誠

米國大藏省職制及事務章程

職制

本省

卿

セクレタリー、オ  
 ッレジュリー

一員 歳俸八千九

大統領之ヲ撰ニ其人名ヲ記シテ元  
 光會ニ詢リ異議ナキハ之ヲ任ス

大輔

フタルスト、ア  
 セクレタリー、オ  
 ッレジュリー

一員 歳俸三千五百元

御之ヲ撰ニ大  
 統領之ヲ任ス

少輔

アッゲシヨナル、  
 セクレタリー、オ  
 ッレジュリー

一員 歳俸 同上

其任撰大輔  
 ニ同シ

大丞

チーフ、  
 クラック

一員 歳俸二千二百元

大藏省

此紙字穩ナラサ  
レ其今假ニモソ

其任撰大輔  
ニ同レ

増給三百元  
管轄ヲ監督スルカ為也

少丞

チスバルシニク、  
クラルク

一員歳俸二十元

第四等書記

クラルク、オフ、  
クラス、フオール

四十八員歳俸合八万六千四百元

第三等書記

クラルク、オフ、  
クラス、スリ

三十員歳俸合四万八千元

第二等書記

クラルク、オフ、  
クラス、フ

廿六員歳俸合三万六千四百元

第一等書記

クラルク、オフ、  
クラス、ウオン

廿七員歳俸合三万二千四百元

寫書女生

フヒノール  
クラルク

卅二員歳俸各九百元

使部

ノスセンビル

十一員同 四十元

同助役

フスレスタント、  
ノスセンビル

一員同 七百二十元

雜役

レイポレール

四十員同 各七百二十元

守衛頭

ウビライニ、オフ  
ウオツテ

一員歳俸 千四百元

機関掛

インビニール

一員同 同上

器械掛

マシ子スト、エンド  
ガス、フヒキストル

一員同 千二百元

守庫

ストール  
キーパー

一員同 千四百元

守衛

ウオウケモノ  
ウオウケモノ

六十員 各七百元

防火役

フアヤマン

五員同 同六百元

日工女

チラルウエモノ

九十員同 同百八十元

右ノ中第四第一等ノ書記ハ大丞ノ管轄ノ事  
ヲ監スルヲ副タルヲ以テ増給合シテ三千元

大歳

又守衛中其頭ヲ副クル小頭二人アリ増給合  
シテ五百六十元也

事務章程

御

一切租税及公金ノ歳出入ヲ統計シ其有餘不  
足ヲ勘合シ税法ヲ改正スルノ法ヲ立テ及各  
省各局ノ入費ヲ豫算シ之ヲ議院ニ出シテ商  
議ニ供スル事

大輔

平常主職ナシト雖モ若シ御疾アルカ或ハ他  
ニ適クキハ之ニ代リテ百務ヲ處分ス但其時

ニ當リテハ卿之ヲ大統領ニ申請ヒ其允可ヲ得ヘシトス

少輔

平素港税ニ関スル事務ヲ統轄シ港税頭ノ上ニ在リテ其處務ヲ監督スルノ任アリ若シ卿及大輔等疾病事故アルキハ之ニ代リテ百事ヲ處スルト大輔ニ同シ但此時ニ於テモ卿ヨリ大統領ニ其由ヲ申請スルト勿論ナリ

大丞

省中ノ事務細大トナシ一切之ヲ通知シ他方

ヨリ卿ニ宛来ル所ノ官翰ハ各其分課ノ録ヲノ之ヲ簿冊ニ留シテ正筭司、検査寮等ニ之ヲ配達セシム又其書、請金、納金等ニ關ラサル者ハ録ヲレテ其返詞ヲ作ラシメ些ノ遲滞ナカラシムヘシトス

少丞

省中各寮司官員ノ月給ヲ配共スルヲ監ス

録

左ノ諸課ニ分ツ

職務課 傳票課 出納課

大藏省

海上雜稅課

港稅課

國稅課

統計課

勸農課

紙幣課

用度課

宮繕課

○職務課

アツボイニトノコト、  
ヂウイレニ

省中官員撰任令旨ヲ屬作スルヲ司ル

○傳票課

ワラント  
チウイレニ

各項ノ傳票ヲ檢査正寔寮等へ大亟ヨリ配  
達スル片之ヲ簿冊ニ記載レ且傳票ヲ作ル  
ヲ司トル

○出納課

出納寮租稅寮等ヨリ申達スル出納ノ事ヲ  
簿冊ニ記載スルヲ司ル

○海上雜稅課

レウイニウマリン  
ヂウイレニ

港稅局ニ屬スル諸海上雜稅ノ事ニ付テ申  
達スルヲ司トル

○港稅課

カストムス、  
ヂウイレニ

港稅ノ事ニ付テノ申達記載ヲ司トル

○國稅課

インタルナル、レウニウ  
ヂウイレニ

國稅ノ事ニ就テノ申達記載ヲ司トル

○統計課

スタチスチツク  
ヂウイレニ

大藏省

専ラ金錢出納ノ多寡ニ関リタル事ヲ記載  
シ統計寮ニ傳達スルヲ司トル

○勸農課 アゲリクルチヲル  
チウイシユン

一切勸農寮ノ申達記載ヲ司トル

○紙幣課 カレンシイ  
チウイシユン

紙幣寮ノ申達及諸国立銀行等ヨリ紙幣ノ  
事ニ付テ申達記載ヲ司トル

○用度課 スライシユチリ  
チウイシユン

本省及諸寮用度ノ申達記載ヲ司トル

○量繕課

本省及諸寮管繕ノ事ニ就キテノ申達記載  
ヲ司トル

右ノ外使部職工等ノ員ハ逐一主職ヲ記サス其  
名ヲ以テ了知スヘシ

大蔵省

米國經濟大法

凡ソ每歲收受スル所ノ租稅及費消スル所ノ公  
金ノ高ハ必ス之ヲ議院ニ詢リテ後決ス大藏卿  
ハ出納ノ任ヲ受ルト雖其多寡ヲ畫定スルノ權  
ナシ其議院ニ詢ルノ法各地方各省ニ於テ翌年  
七月ヨリ翌々年六月迄ニ費スヘキ常額ノ費用  
ヲ今年六月中ニ算計シテ之ヲ大藏卿ノ許ニ致  
セハ卿其省ノ定額費用ヲモ算當セシメ豫ノ其  
當不當ヲ考決シ各地各省ヨリノ書上ケト其省  
ノ書上ケヲ一冊ニ綴リ込ニ毎年十二月議員集

會ノ日ヨリ之ヲ院中ニ持出テ其當不當ヲ議シ  
テ後ニ其金高ヲ出スヲ許スナリ而シテ其各地各  
省へ出スヘキ金ハ即各其定額金<sup>スプロット</sup>トナル也  
租稅モ亦然リ若シ之ヲ増減セント欲スレハ必  
ス其由ヲ記シテ集議ノ日ニ當テ之ヲ議スレハ  
御ハ出納ヲ掌ルル權アリト雖更ニ一錢モ増減  
シ且擅ニ之ヲ出シ費スヲ得ス借古ノ如クニノ  
定用金額決スレハ逐一其高ヲ検査察中ノ簿冊  
ニ記載シ之ニ照シテ各地各省ヨリノ請金ヲ遣  
スナリ又若シ諸地方各官及本省ヨリ書出セル

算計帳中ニ誤算アルカ或ハ將來ノ景況ヲ思惟  
シテ已ニ書上ケタル金高ニテ不足ナリト慮ル  
ルハ會議ノ間ニ其由ヲ記載シテ再議ヲ乞フ  
ヲ得ヘシ是其大法ナリ

實際活用

非常入用ノ事

兵革等ノ大事ニ至リテハ固ヨリ議員ヲ招  
集シテ其事ヲ議スルニ因テ其費スヘキ金  
高モ豫メ定マルナレモ是ヨリ小ニシテ  
假令ハ俄ニ外國ニ使節ヲ遣スカ或ハ外客



ヲ饗スルカ或ハ省中管膳ノ事等ニテ其費  
用定額ニ起ルヲアリ此ノ如キ事ヲ豫メ商  
量シテ臨時費用ノ廢ヲ以テ書出スナリ大  
抵各省各局ニテ定額ヨリ一割程多ク見積  
リ書出シテ御ノ許ニ出シ御モ其省中ノ見  
積ヲ多ク記シテ議院ニ出ス也

前條ニ云フ如ク官員ノ月給等定額ノ知  
レタル物ハ増スル能ハスト雖雜費ニハ  
大抵一割ヲ抵テ積置ク也故ニ不足ノ憂  
ナシト雖若シ建築ノ間木石等ノ價戢ニ

騰貴シ其定メタル金高ニテ費用實ニ給  
スルヲ能ハザレバ暫ク其功ヲ止メ閑  
院ノ期ヲ俟テ再々之ヲ議スルヲアリト  
云フ

借是等モ大ニ民心ニ閑スルヲナリ若シ  
一割セ多ク積置スレテ不足ノ度毎ニ稅  
ヲ増シ掛ルキハ大ニ人望ヲ失フヘシ故  
ニ斯ク為シ置クトソ

又若シ大藏省ノ如キ一日モ其務ヲ廢ス可  
ラサル者其建物誤テ燒失スルキハ御自ラ

銀行ニ謀リ其金ヲ借テ直ニ之ヲ造立ニ其  
費用ヲ記載シテ追テ衆議ニ付スルナリ又  
或ハ海陸軍省ノ如キハ互ニ其定額金ノ中  
ヲ融通スルヲ希ニ之アリ此時ハ翌年定額  
ノ中ヨリ互ニ相還納ニ其分ハ大藏省中ノ  
各省受持帳ノ中ニテ差引勘定ヲ為スナリ  
借又議院開議ハ十二月初月曜日ヨリ翌年  
三月マテノ事ナレハ但シ議スヘキノ事多  
キハ六月末迄延開  
スルコトアリ其間ニ各省ニテ既ニ積レル定額ニ  
テ不足ナリト考フルキハ之ヲ申出テ再議

ヲ乞フテ得ルナリ

給俸ノ事

九ノ大藏省官員ノ給俸ハ固ヨリ他省官員  
ノ給俸ト同シク議院ニテ定マルコト故些シ  
モ増減スルヲ能ハスト雖省中ノ事務ニ最  
モ多ク関スル人假令ハ大丞ヲ如ク勤務モ  
甚多端殆ニト御ノ職ヲモ兼ルカ如キモノ  
ニ至テハ御ヨリ事ニ託シテ増給ヲ遺ハス  
ト云フ最モ其官ニハ其俸ノ定規アリテ變

大藏省

大亞病氣ノ節ノ事

スヘカラサレハ公ニハ知ラシメスト云リ  
大亞ハ前ニ述フル如ク細大ノ事務尽ク之  
ヲ通知スルヲ以テ若シ疾病事故アリテ出  
省セサルキハ御特ニ録中ノ能ク其任ニ勝  
ユル者ヲ撰ミテ之ニ代ラシム然レモ平素  
大ニ御ノ信用ヲ得ル者ニ非レハ用フルヲ  
得スカタル者ハ至テ希ナレハ大抵御自ラ  
手ヲ下シテ其事ヲ執ルト云フ

各省長官集會ノ事

毎年十二月ヨリ議院開議ノ間ハ每週二回  
各省ノ長官相會合ス此時各其省ニテノ費  
用ノ事ヲ大藏卿ト相談スルヲ以テ議院中  
ニテ其事ニ付キ大抵異議ナギモノトス

一事兩議ノ事

御輔ノ間一事兩議アリテ悞同スル能ハサ  
レハ之ヲ司法省ニ付シテ其裁決ニ從フ  
按スルニ專ラ法律ニ關セルヲ云フ

傳宗大意

大藏省

凡、各地各省ヨリ其定額ノ金高ヲ受取ラント  
ヲ請ヒ出ルキハ必ス其請金票ニ照シテ別ニ其  
誤算ナキヲ證スルカ為ニ一枚ノ票ヲ作り其由  
ト其高トヲ記載シ、御、大輔、或ハ少輔、大丞、検査頭  
正算役、記録頭、等之ニ證印シテ、後其金ヲ出スヲ  
法トス、否レハ一錢タリヒ之ヲ出ス、トナシ、此時  
ニ作ル所ノ票ヲ名ケテ傳票ト云フ、尤出金ノ事  
ニ就テモ皆渡票ニハ御ト正算役トハ之ニ調印  
セス、又入金ノ節モ其高ヲ記セル票ヲ各省各地  
ヨリ出スキハ亦前ノ手續ノ如クニナス也、但諸

入金票共ニ御正算役ノ調印セサル事皆渡票ノ  
如シ、是レ傳票ノ大意ナリ

傳票種類

凡、傳票ニハ二類アリ、出金票、入金票是ナリ、出  
金票又二種ニ分ツ、曰、内渡票、曰、皆渡票、是ナリ、内  
渡票トハ、議院ニテ決定セル各省各局ノ定額入  
費ノ内金官員ノ給俸ヲ遣トキモ亦之ヲ用フヲ受取ラントヲ請  
出ルトキハ、大藏省中ニ在ル各省定額簿ニ照シ  
テ欲スル所ノ金高ヲ記載セル票ニテ、御、大丞、檢  
査頭、正算役、記録頭、等ニ廻達シ、各其檢印ヲ受ル

大藏省

票也

但定額ノ中トテ一省中諸費ヲ合シテ其中若干ヲ受ルニ非ス假令ハ何省ニテハ何ノ為ニ何程ノ定額アリト定メ置故其中一事或ハ他事ヲ営ムニ其定メタル中ヲ受ル也皆渡票モ此意ヲ以テ見ルヘシ

皆渡票トハ右定額ノ金高ヲ一時ニ受取ヲ請出ルキカ或ハ前ニ内渡ヲ得テ後ニ渡餘リヲ乞出ルキカ或ハ各省各局ニテ物ヲ買入レ其省局ヨリ其金高ヲ乞出ルトキ之ニ副フルノ票ナリ且

此票ニハ大輔、大丞、検査頭、記録頭等而已之ニ印

シ、卿、正、筆、役ハ関ラズ、金票モ亦五種ニ分ツ曰

港稅票曰國稅票曰賣地票曰雜入票曰返納票是

ナリ、港國二稅ノ票ハ即其名ノ如ク、港國稅ヲ納

セキ、其高ヲ記セル書付ニ添テ回達スルノ票ナ

リ、凡ッ入金票中港國稅ニ関セサルモノ賣地票

トハ政府ノ土地ヲ賣拂ヒタル勘定書ニ添ヘル

票ニテ官地賣ヨリ出スナリ雜入票トハ或ハ港

稅局ニ関スルモノナリ、政府、借庫ノ庫敷料、蒸

手、數、料、或ハ輸入、禁セシモノ、鐵、鍋、ヲ、檢、査、ス、ル

物、ヲ、持、來、レ、ル、過、料、等、ノ、金、ナ、リ、國、稅、ニ、関、ス、ル

大義

モノアリ。是又庫敷料過又各省各地方ニテ河  
 トモ名狀スヘカラサル雜入金ヲ他ノ定マリタ  
 ル入金ト一紙ニ記載シ之ヲ大藏ニ納ムルモ大  
 藏ニテ之ヲ一月毎ニ書上ケ各省ノ區別ヲ為シ  
 テ一々之ニ添フル傳票ナリ。是等下ノ手續ヲ返  
 納票トハ各省各地ニテ定額ノ金ヲ用ヒテ尚餘  
 フリ之ヲ返納スル片之ニ添フル傳票ナリ。假令  
 造營ニ取掛ル始會計請持役ノ見積ヨリ費少ク  
 シテ竣功スルカ或ハ官員ノ内引負ナトアリテ  
 其給料ヲ差引シルカ或ハ先シテ其後又別ニ融  
 給ヲ賜ラサレキニ返納スルカトシ  
 通票同返金票ノ二類アリ此二票ハ一省ノ定額

金ニテ不足ナルヲアル片ハ他省ニ申談シ其定  
 額金ヲ借ル時假令陸軍ニテ今年軍馬ヲ買フ  
 ニ海軍ニテ艦艇ニ小舟ヲ買入ル金十萬ヲ要スル  
 中其金不足ノ片ハ古陸軍ノ定額金二十萬元ノ  
 中十萬元ヲ談シテ借リ用フルカ如シ兩省ヨリ  
 然レモ是等ハ常有ノ事ニアラスト云  
 大藏ニ其事ヲ申出其帳面ヲ書改メ融通ヲ為サ  
 シム此時ニ其金高ク右票ニ記載シテ他票ノ如  
 ク回達スルナリ其返金票トハ古融通ノ金ヲ翌  
 年定額ノ中ヨリ差引返濟スル片又兩省申談シ  
 其由ヲ大藏ニ申出立テ帳面ヲ書改ムル片之ヲ  
 記シテ回達スルノ票ナリ

大藏省

古出入及融通金八種ノ傳票ノ中唯内渡  
票ノ三卿正算ノ手ヲ經レテ餘ハ盡ク大輔  
大丞、検査頭、正算役、記録寮、傳票掛ノ檢印而  
已ニテ事畢ルナル

是ヨリ傳票ノ手續ニ及フヘキナレモ先之  
ニ関スル諸寮及本省傳票掛ノ主職ヲ畧記  
シテ了解シ易ラシム

本省ノ中出入傳票ヲ檢シテ證印ヲ為ス者ハ卿、  
大輔、大丞、傳票掛頭取、小金掛頭取、正算役、検査頭、  
記録頭等是ナリ其中卿、大小輔、大丞等ノ主職ハ

前ニ掲ケタルハ今左ニ傳票掛記録掛其他正算  
検査記録、諸寮官員ノ主職ヲ示ス

傳票課

頭取一人アリ録ナレモ本邦ノ録ト異ニ然テ古  
メ下ニ入數人ノ録アリ  
ニ述ヘタル九種ノ傳票ヲ作ル者ヲ主宰ス手元  
ニ數種ノ簿冊ヲ備ヘ請金票ノ正算検査ノ手ヲ  
經テ來ル者先此頭取ノ許ニ來レハ其年月日及  
省局ノ名等ヲ記載シ配下ノ録ニ遣ハセハ配下  
ニハ左ノ諸掛アリ

海軍掛 陸軍掛 國稅掛 港稅掛

大藏省

印土人批

部政批

地方批ナリ

此諸分課ノ録各其簿冊ヲ有。右ノ請金票ト正  
算役ヨリ。検査寮ヘ宛テタル定額ヲ記載セル證  
書トヲ見合セ各其批ノ傳票ヲ作り此ヲ簿冊ニ  
記シ然ル後右ノ傳票ハ其頭取ノ許ニ遣ヒ是ヨ  
リ諸寮ニ回達スルナリ是其大畧ナリ尚下ノ手  
續ノ條ニ詳ニスヘシ

入金課

此課ヲ管スル者ハ同キノ録ナレ其頭取ハ傳  
票課ニ於ルカ如ク任モ俸モ共ニ重シ其配下ニ

ハ又數人ノ録アリ其分課亦傳票課ト異ナラス  
同ク各種簿冊ヲ擁。但此課ハ専ラ入金ノ事  
而已ヲ管シ更ニ出金ノ事ニ関ラス前ニ載スル  
五種ノ入金ノ證書毎日各地各局ヨリ卿ノ許ニ  
來ル者皆此處ニテ簿冊ニ登記シ一週毎ニ一紙  
ニ記載シ之ヲ傳票課ト出納寮トニ送ルナリ

検査寮

頭一人推頭一人アリ各其局ヲ分テ下ニ録頭及  
數人ノ録ヲ使用ス凡ソ此寮ノ主務トスル所ハ  
議院ニテ決定セル各省各局ハ定額費用并ニ其

大蔵省



許サレタル次第ヲ記載セル簿冊ヲ有シ各省各  
 局ヨリ其金高ヲ請フハ初ノ正算役ノ算計ヲ  
 経テ此案ニ来ルニ當テ其定額ノ數ニ合フト合  
 ハサルトヲ検査シ了リテ傳票課ヘ別ニ其検査  
 ノ濟ミタル證書ヲ添ヘテ遣スナリ借之ニヨリ  
 テ傳票課ニテ之ヲ證トシテ傳票ヲ造ルヲ得ル  
 ナリ此頭ニハ第一五六等ノ正算役屬附ニ推頭  
 ニハ第二三四等ノ正算役之ニ附屬シ各分課ノ  
 算ヲ正フニテ此頭等ノ閱ニ供スルナリ又此案  
 中ノ録ニハ種々ノ分課アリテ各其簿冊ヲ有ス

ル一傳票課入金課等ノ本省ニ屬スル録ニ異ナ  
 ラス

正算司

此司ニハ第一二三四五六等ノ六人ノ正算役ヲ  
 リ斯ノ某等ヲ分ツトモ主務ニ輕重アルニ非ス  
 柳此六個ノ正算役ハ検査察ノ附屬ノ如シ且各  
 其分課アルト左ノ如シ

- 第一等 諸税及諸雜費
- 第二等 陸軍
- 第三等 海軍
- 第四等

第五等

主務第一等ニ同シ

第六等

外交、郵遞等ノ算計ヲ正スヲ司  
トル

借各省各地ヨリ請金票来ルキハ大丞ノ許ヨリ  
各右分課ニ配典ス此時其請金票ト仕出トテ照  
見シ其金高ヲ逐一算計シテ之ヲ其被轄ノ検査  
頭ノ許ニ正算シ了リタル證書ヲ添ヘテ遣ハス  
ナリ又諸正算役セ各一局ヲ有シ其下ニ録頭及  
録數人アリテ簿冊ヲ預ル

出納寮

頭一人推頭數人アリ下ニ入録頭及數人ノ録ア  
リ又金錢預役アリ抑此寮ハ大藏省中ノ胃腑ノ  
如ク金錢ヲ出シ入之ヲ納ムル皆此所ニ於テス  
其中推頭ハ各地ニ派出シ其地ニ在テ國稅港稅  
賣地金等ヲ受取リテ之ヲ大藏省ニ致ス其派出  
ノ地ハ米國中ハ所アリ左ノ如シ

前ニ云フ推頭トハツブトレケユリシノ事ナリ

右ハ八所各其地ノ人ヲ撰ミテ之ニ任ス其實  
ハ華聖頓ヨリ派出ナルニ非ラヌ

一ニウヨルク

一ポールチモ一

- 一 フヒラ デル フヒヤ
- 一 ボストン
- 一 ニウオールリン
- 一 チカゴ
- 一 ナアールレストン
- 一 サニフランシスコ

又出金掛ハ一切大藏省ヨリ出スヘキ金ヲ預リ  
 頭ノ命ヲ受ケテ之ヲ出ス役ナリ又入金掛ハ入  
 リ来ル金ヲ受取ルナリ而シテ此察ニ於テハ出入  
 ノ傳票共ニ此二人ノ檢印ヲ押サ、レハ其金錢  
 ヲ出入スル能ハニ此察ノ録モ亦分課アルコト  
 檢査正算ノ察ニ於ルカ如シ借出金ノ事アレハ  
 傳票ニ記セル金高年月日各省各局及受取人名

等ヲ委シク各分課ノ録ヲメ其預ル所ノ簿冊ニ  
 記載セシメ然後手形派ヨリ手形ヲ切取リ之ヲ  
 傳票ニ添ヘテ出金役ノ處ニ遣ハセハ出金役其  
 高丈ノ金ヲ拂フナリ

出納察ノ手続大  
 抵銀行ニ同シ

記録察

頭一人権頭一人録長一人録數人アリ一切省中  
 出入金錢紙幣ノ事ヨリ銀行ノ書付其外證書ノ  
 類或ハ大藏ノ事ニ関スル記録類大抵此所ニア  
 リ殊ニ議院ニテ許可ヲ得タル各省各局定額ノ  
 金數并ニ之ヲ出入スル記録國債償還等ノ記録

等一切此所ニ記載セサルナレ其金銭ヲ出入  
スルニ當テハ検査出納等ノ諸察ト同シク一々  
此察ニ來リ記録ニ照見シ之ヲ出入スルノ由ヲ  
記載シ其傳票ヲ寫シ頭ノ檢印ヲ得ルニ非レハ  
之ヲ出入スルヲ得ス其録ハ各分課アリテ簿冊  
ヲ取扱フ一尚他察ノ如シ

右二課四察ハ金銭出入ノ節盡ク其手ヲ經  
ルモトス

金銭出入并ニ其請文傳票書上等ノ事及  
其手續

凡ソ毎年議院ニ於テ各省各局定額費用ノ數決  
定スルキハ大藏ニテ其票ヲ作ル其文ハ各省皆  
同シ此票ヲ名ケテ

○定額金票原票ト云フ此票ニ載スル金額ハ先  
寫票ト

ツ検査頭ノ簿冊ト記録察ノ簿冊ニ登記シ之ヲ  
翌年七月ヨリ一歳間請ヒ出ル請金ノ數ノ見合  
トス尤大切ナル書付ナリ借其原票ハ之ヲ記録  
察ニ綴込置キ其寫ハ記録頭ヨリ之ヲ検査推頭  
ニ送ル推頭之ヲ簿冊ニ登記シ再ヒ此定額金ヲ  
要スル省ニ送ル省ニテ之ヲ記載シ更ニ其掛リ

正算役ニ送ル正算役之ヲ登記シ終ニ検査権  
頭ノ許ニ返納スルナリ

古終テ後各省ヨリ其定額金中何々ニ當ラタル

分ヲ又分チテ何程得度ト其御ヨリ大藏卿ニ申

出ルノ票之ヲ○内渡請金票ト云フ此票此票而  
出カオシラフ  
レクイシシニ

ス一切大藏ノ用度課ヨリ文言及調印  
ノ憑ヲ指示シ直ニ用フヘキ紙ヲ給ス其請文及

金高署名ノ所等ヲモ記シタレハ各省ノ御唯其

名ト其事ヲ書加ハ大藏卿ノ許ニ送レハ御之ヲ

大丞ニ傳フ大丞承ケテ之ヲ記録課ニ傳フ記録

課之ヲ其簿冊ニ登記シ受持ノ正算役ニ送ル正

算役之ヲ正算ニ其算勘誤ナキヲ證スルノ書ヲ

添ヘ且古ト票ニ名ヲ署シテ之ヲ検査頭ニ送ル

検査頭之ヲ其本高帳ニ照シテ其票ニ名ヲ署シ

再ヒ大丞ニ送ル大丞名ヲ署シテ傳票課ニ返ス

傳票課之ヲ簿冊ニ登記シ其票及各省ヨリ来リ

レ請金原票ト共ニ其手元ニ綴込ニ置キ是ニ於

テ初テ

按ニ各省ヨリ請金ノ一ヲ出セル手簡卿ノ許

ニ来レハ御之ヲ大丞ニ傳ハ大丞之ヲ傳票課

ノ受持ノ録ニ送リ録内渡請金票ト内渡票ト

大藏省

ヲ一時ニ記シテ廻スニヤ否サレハ餘リ煩冗  
ナリサレハ内渡請金票ニ御ノ署名スヘキ空  
所アレハ各省ニ豫メ此紙ヲ遣ニ置キテ下ノ  
如クノ手續ト為ス様ニ思ハル

○内渡票ヲ作り之ニ右請金ノ多寡及其入用ノ  
次第ヲ盡ク寫シ谷其受持ノ録ノ海陸軍等ノ  
ヲ記セル者ノ名ノ一字ヲ票ノ一方ニ署シ其高  
及出セル日限ハ其簿冊ニ記シ録長ノ許ニ出セ  
ハ録長自ラ印シテ之ヲ大丞ノ許ニ送ル大丞之  
ニ印シテ御ノ許ニ致ス御之ニ印シテ復々大丞

ニ返ス大丞之ヲ受持正算司ニ致シ正算役再ヒ  
之ヲ正算ニ且簿冊ニ記載シ検査察ニ致ス検査  
頭之ヲ受持ノ録ニ命シ再ヒ本高帳ニ照較セシ  
メ違算ナキ所ハ之ヲ簿冊ニ記載セシメ自ラ其  
名ヲ署シテ之ヲ記録察ニ送レハ頭之ヲ各受持  
ノ録ニ命シ同様ノ紙ニ寫取レシ此紙ハ内渡皆  
ノ同様ノ紙ヲ造リ之ヲ渡置ケハ其高ト其  
入訖及月日而ヒテ記載シテ事務ムナリ且簿  
冊ニモ記載セシメ其寫ハ察中ニ綴込ニ置キ原  
票ニ印シテ之ヲ出納察ニ送レ出納頭之ヲ各受  
持ノ録ニ命シ本高帳ト照合セシメ更ニ此票ノ

金高入用。向月日等ヲ精細ニ簿冊ニ留メシメテ諸  
 簿冊ニ記ス手數此察簿冊ノ數殊ニ多ク了リテ  
 頭之ニ印シ同察中手形掛ノ録ニ遺ハセハ録ハ  
 豫メ手形ヲ綴込ミタル帳ヲ持シ手形ノ一方ニ  
 此票ハ番号傳票課ニテ記年月日ヲ記シ傳票ニ  
 ハ手形ノ番号ヲ記シ借此手形ノ帳ヨリ切離シ  
同シク、ナエツキレノ如ク作りタル者ニテ切離シタ  
 ル一方ニ手形ニ記セル如キ番号及年月日渡セ  
 ル人名ヲ之ヲ傳票ニ添ヘテ再ヒ記録察ニ致セ  
 記ス  
 ハ察ニテ何ノ票ハ何号ノ手形ニテ其金子ヲ渡  
 セルト云フコトヲ前ノ票ヲ記セル帳及別ニ手形

又記セル帳中ニ寫シ借別ニ受取帳ヲ右ノ票及  
 手形ニ添入テ出納察ニ携ヘ行カシムレハ其掛  
 ノ録右ノ票ト手形ヲ受取置キ受取帳ト受取タ  
 ルコトヲ書シ票ニ其名ヲ記シテ此録察ニ返ス斯  
 々テ此手形ヲ右金受取人ニ渡ス是ニテ事了ル  
 ナリ  
 借右ノ手形ヲ受取タル者直ニ出納察中ノカ  
 ンシテトテ金錢ヲ出スノコト而已ヲ司トル役人  
 ノ許ニ到リ手形ト引換ニ其金高ヲ受取ル者  
 アリ或ハ出張出納権頭ノ處ニ到リ金ヲ受取

大蔵省

モアリ。或ハ其手形ヲ持シテ已レカ都合ヨキ  
 地ニ到リ國立銀行ニ行キ定メテ證トシテ金ヲ  
 受取アリ何レニモ三ヶ月目ニハ必ス其手形  
 出納寮ニ返リ来ル筈ナリ  
 斯クテ出納寮ニテ右ノ傳票ト仕出シ請金ト  
 引放シ各別ニ貯置キ百枚毎ニ一纏トシ三ヶ  
 月目ニ右ニ云ヘル手形归来ルキ傳票ト手形ハ  
 之ヲ正算寮ニ致シ是ヨリ検査寮ノ手形經テ終  
 二記録寮中ニ納マルナリ  
 又初ノ右ノ内渡票ノ手續ヲ經テ入用程ノ金ヲ

受取リタル後其殘金ヲ受取ラント欲スルカ或  
 ハ初ヨリ定額金中何ノ分ト別チタル金高ヲ一  
 時ニ受取ラント欲スルモハ各省ヨリ前ノ手續  
 ノ如クニシテ請金票ヲ大藏卿ノ許ニ送ス此票  
 名テ  
 ○皆渡請金票ト云フ此票来レハ前ノ手續ノ如  
 クニシテ傳票課ニテ此票ハ正算役  
ノ手ヲ經ル也  
 ○皆渡票ヲ作ル是ニ於テ其大丞検査寮記録出  
 納等ノ手ヲ經ル前ノ如シ但此票ハ正算役ノ  
 手ヲ經ス又御之ニ印セシテ大輔代リテ之ニ

大藏省



印スルノ差フル而已餘金錢ヲ受取且出納察ニ  
テノ手数全ク前ノ如シ

又各省互ニ其定額ノ金ヲ融通シ用ヒントスル  
片ハ是亦其御ヨリ皆渡請金票ノ手續ノ如ク大  
藏卿ニ送ルノ票ハ名ケテ

○融通請金票ト云フ此票大藏ニ來レハ皆渡票  
ト同様ノ手續ニシテ

○融通票クラニスラエル  
ワラントヲ作ル是ヨリ大輔以下ノ印スルヲ記  
録スルト皆渡票ト異ナラス斯クテ後融通ヲ受  
タル省ニテ其金ヲ受取使用スルヲ得ナリ

右ハ出金傳票及請金票等ノ手續ナリ諸是

ヨリ入金ノ傳票ノ手續ニ及フヲ以テ順序  
トスト雖先豫メ各地出張出納権頭港國ニ

稅收受官官金預所、國立銀行等ヨリ本省ハ  
納ムル所ハ出入金書付類ヲ記載シテ本省

及各所ニテノ入金手續ヲ知ルニ便ス  
○各地出張ノ出納権頭ヨリ日毎ニ其有金ノ

總高ト他ニ出スヘキ答ノ高トヲ記載シテ  
出納頭ノ許ニ送ル書付他ニ出スヘキ金子  
トハ驛遞局用ノ金

ハ送ハスヘキ金等ナリ

大藏省

各地出張出納権頭ヨリ其地ノ收税官ヨリ

納ムル所ノ港税金ト他ニ出スヘキ出金證  
書等ノ高トフ比算シテ出納頭ノ許ニ出ス  
書片

③ 同権頭ヨリ驛遠省ノ為ニ其有金ト出スヘ  
キ金ノ高ヲ記載セル馬書  
是ハ同シク出納頭ノ許ニ納ムル

④ 同権頭ヨリ其地ノ港税收受官ヨリ受取り  
タル港税金ノ受取手形原紙  
是ハ收税官ヨリ大藏卿ニ納ム  
同二番目馬  
是ヨリ同官ヨリ海軍士官ノ許ニ納ム 三番目馬

是ハ自身所持ス

⑤ 同上ヨリ雜港税金ノ受取手形原紙  
同上 二番目馬

⑥ 同上ヨリ國稅收受官ヨリ國稅金ヲ受取  
ル手形原紙  
是ハ國稅收受官ヨリ大藏卿ノ許ニ出ス 三番目馬

⑦ 同上ヨリ國稅ニ付テノ過料  
是ハ同上ヨリ國稅頭ノ許ニ出ス 三番目馬  
是ハ自身所持ス  
同料  
同金ヲ國稅收受官ヨリ受取タル手形原

紙  
大藏卿ノ許ニ出ス 二番目馬  
國稅頭ニ付テ 三番目馬  
是ハ自身所持ス

大藏省

⑧

出張出納推頭ヨリ褒功院入金

按ニ各地方ニテ發明者

褒功院ノ免許ヲ得テ其後年々若干ノ金ヲ此推頭ノ許ニ納ムルヘシテ取リタル手形原紙ハ納主ヨリ大藏

二番目

⑨

出張出納推頭ヨリ各省ノ會計投ヨリ公用

金ヲ預リタル手形三枚

⑩

同上ヨリ郵便錢受取ノ手形原紙是ハ納主ヨリ第三

等驛通長ニ致ス 馬自身ニ所持ス

⑪

同上ヨリ諸雜入金ノ何省ニセ属スヘカラ

サル金高ヲ受取リタル片遣ハス手形原紙

納主ヨリ大藏御ニ納ム 馬自身ニ所持ス

右十一種ノ書付及手形或ハ出納頭ノ許或ハ

納金主へ遣ハスモノナリ後ニ此番号ヲ以テ

逐一其手続ヲ記ス

⑫

各地官金預リ所ヨリ官金ノ預リ高其種類

金銀紙幣并ニ他ニ出スヘキ筈ノ金高トシ

記シテ出納頭へ差出ス書付

⑬

同上ヨリ小港輸入税ヲ其收受官ヨリ受取

タル手形原紙納主ヨリ之ヲ大藏御ニ致ス 并馬自身ニ所持ス

⑭

同上ヨリ同上ノ雜入金ヲ受取タル手形原

大藏省

紙納主ヨリ大并馬納主ヨリ

丁 同上ヨリ國税金ヲ國稅收受官ヨリ受取タ

ルヲ證スル手形原紙納主ヨリ之ヲ大藏卿ニ輸ス二番目

馬納主ヨリ之ヲ三番目馬同上自ラ

戊 同上ヨリ國稅收受官ニ國稅ニ付テノ過料

七 ヲ見合テ受取タルヲ證スル手形原紙納主

ヨリ大藏二番目馬納主ヨリ國稅ニ送ル三番目馬

自身ニ

己 同上ヨリ褒功院入金ヲ受取タル手形見合

スハ原紙納主ヨリ大藏二番目馬納主ヨリ

ニ輸三番目馬自身ニ

庚 同上ヨリ各省會計役ヨリ公用金ヲ預リタ

ル手形三枚

辛 同上ヨリ郵便錢受取ノ手形二枚原紙納主

大藏卿自身ニ

壬 同上ヨリ何省ニモ屬スヘカラサル雜入金

ヲ受取タル手形原紙納主ヨリ大藏馬納主

之ヲ

右九種ノ書片及手形ハ後ニ入金手續ノ事ヲ

載スル時ノ見合トスベシ

大藏省

天

各地ノ国立銀行ニ國稅收受官ヨリ預リタル國稅金及褒功院免許金ノ預リ高及其出スヘキ若ノ金錢ノ高トテ記シテ大藏卿及出納頭へ各一枚ツ、拂出スヘキ書付

地

同上ヨリ國稅收受官ニ遣ス國稅金及褒功院金預リ高ノ手形原紙ハ大藏卿ノ二番目

馬

國稅ナレハ國稅頭褒功院金ナレハ褒功院長ニ納主ヨリ之ヲ致ス三番目

馬  
自身ニ所持ス

右ノ書付手形モ亦記号ヲ按シテ見合ノ料トスヘシ

今迄ニ國港稅等ノ入金手續ヲ分ツテ記載ス

凡ソ各地ノ港門ニ於テ輸入稅ヲ受取ルキハ收受官直ニ之ヲ其地或ハ近傍ノ地ニ出張セル出納推頭ノ許ニ納ムルカ或ハ其港ノ輸入少キ地ニ在テハ出納推頭ノ出張之ナキヲ以テ豫メ命セラレタル官金預處ニ託ス或ハ此預所ナキ處ニテハ之ヲ国立銀行ニ託ス此時出納推頭ヨリハ四ノ受取手形三枚ヲ出ス若シ其稅雜件ニ屬スレハ五ノ受取三枚ヲ出ス收受官之ヲ受テ原

紙ハ急便ヲ以テ大藏卿ノ許ニ輸シ其ニ番目馬  
 ハ之ヲ海軍士官ニ是ハ各港ニ在ル港税吟渡  
 之ニ番目馬ハ自ラ之ヲ有ス官金預處ニ託  
 モ又此手續ノ如クス又海軍士官ヨリ第ニ番目  
 之ヲ添ヘラシケ月毎ニ港税頭ノ許ニ送ル港税頭  
 照見ニ差異ナケレハ合セ記シテ又港税官ハ別  
 豫メ出納頭ヘ道ハレ置クナリ  
 ニ日毎ニ收ムル所ノ港税及雜税金ノ高及其貨  
 幣ノ種類并ニ之ノ預ケタル高ト且何人ニ預ケ  
 タル又其中ヨリ雜用ニ使ヒタル杯一枚ノ紙ニ  
 委ク記載シテ之ヲ大藏省中ノ港税頭ニ送ル借

大藏ニテハ右卿ノ許ニ送リタル四或ハ六ノ手  
 形ノ原紙ノ前ニ云ヘル入金課ノ誥所ニ違ハレ  
 日ニ其掛ノ録ヲメ之ヲ簿冊ニ登記セレノ又別  
 ニ一枚ノ紙ニ其手形ニテ納マリタル高ヲ出張  
 出納権頭ニ納メタルト官金預所或ハ國立銀行  
 ニ納メタルト皆別紙ニ其課ノ掛ニ於テ記載セ  
 レム此入金高ヲ記セル書付ハ毎週之ヲ出且又  
 出張出納権頭ヨリハ日毎ニ一ノ書付ト二ノ書  
 付ヲ本省出納頭ニ納ム若シ出張権頭ナキ地ナ  
 レハ前ニ云フ如ク官金預處ヨリ甲乙ノ書付ヲ

大藏省

出納頭ニ出ス斯クテ三ヶ月ヲ経レハ入金課ヨ  
リ其大藏御ヨリ受取タル出張出納権頭或ハ官  
金預所或ハ国立銀行ヨリノ手形ヲ寫シタルモ  
ノヲ出納頭ノ許ニ送ル出納頭ハ権頭或ハ官金  
預處或ハ銀行ヨリノ①②③④ノ書上ヲ毎月一  
纏ニ記シタル簿冊ト且港税頭ヨリ其配下收受  
官ノ手形ヲ一ツニ纏メ記シテ其許ニ豫メ送リ  
タル書ト合セテ三通ヲ見合セ其出入ノ高ニ差  
異ヲケレハ其由ヲ證シ其高ヨ本税雜税ト區別  
シテ別紙ニ認メ又其金ヲ納メタル所ヲ七分  
明

ニ記シ之ヲ傳票課ニ送レハ此課ニテ其受持ノ  
録之ヲ簿冊ニ登記シテ然後初テ○港税入金票  
ヲ作り之ヲ大丞ヲ許ニ送ル大丞之ニ印シテ大  
輔ニ送ル大輔印シ了リテ又大丞ニ返シ大丞之  
ヲ検査課ニ送リテ検査頭之ニ印シ記録課ニ送  
ル記録頭之カ屬ヲ為サシメ逐一簿冊ニ記シテ  
出納寮ニ送ル出納頭之ニ印シ再ヒ大丞ニ還シ  
大丞之ヲ入金課ノ録ヲシテ簿冊ニ記載セシメ  
且其屬ヲ作りテ之ヲ敘込置カシメ是ヨリ再ヒ  
出納寮ニ送レハ其寮綴込トナリ此時本寮ヨリ

初ノテ國港稅收受官ニ頭ノ檢印セル受取書ヲ  
遣スナリ又國稅ヲ納ムル手續モ大抵右ノ如シ  
只國稅收受官ヨリスルト港稅收受官ヨリスル  
ト手形及ヒ日毎ノ書上ノ異ナルノミ又手形ヲ  
一枚ノ國稅頭ニ納ムルト彼ハ海軍士官ニ納ム  
ルトノ異アリ又國稅ニ付テノ過料ヲ取上ケ且  
之ヲ納メタル受取手形ヲ納ムルコトアリ今逐一  
辨セサレ氏前ニ甲乙一二等ノ記号ヲ用ヒテ記  
セル書付手形類ヲ一見セハ容易ニ了解スヘシ  
但前文三ヶ月毎ニ受取本書ヲ出納頭ヨリ港

稅收受官ニ遣ハスニハ其地ニ出張セル海軍  
士官ノ<sup>④</sup><sup>⑤</sup>等ノ第二番受取簿ヲ見合セテ一  
纏ニ入港稅高ヲ記シ豫メ出納察港稅察ヘ納  
メ置キタル書付ニ照シテ其金高相違ナキト  
キ初メテ之ヲ出スナリ又國ノ受取ハ各地方  
收稅官課稅官ヨリ出納察及國稅察ニ出シ置  
タル書付ヲ照合シテ初メテ之ヲ出スナリ  
附各港稅関ニ出張スル海軍士官ノ事  
海軍士官トハ米國ニ於テ元來海軍士官港稅ノ  
事ヲ監督セシニヨリ尚其名ヲ存スル者ニテ今



ハ海軍ニ屬スルモノニ非ス米國中輸出入物多  
キ港ニハ皆一人定出張シ日々入港税金取立ノ  
事ヲ檢ス故ニ收稅官ヨリ輸入稅ヲ取立ル毎ニ  
必ス此人ノ閱ニ供ス此人自ラ簿冊ヲ擁ニ逐一  
之ヲ記載シ日毎ニ其高ヲ記セル書片ヲ港稅頭  
ニ許ニ遣ハスナリ是專ラ收稅官ノ詐偽ヲ防ク  
ニ備フト云フ尤此士官收稅官ノ作レル入金書  
ニ毎日檢印シテ之ヲ渡シ收稅官  
其書ト共ニ入金書片ヲ出  
納察及港稅頭ニ納ムル也

米國大藏省雜務補遺

○米國政府會計期限之事

每三月ニ出納ノ總計ヲ立テ又之ヲ四合シ全年  
分ヲ計リ以テ前後一年ノ比較ニ備フ但毎年七  
月一日ヨリ翌年六月卅一日迄ヲ一歲會計ノ始  
終トス

○國民ニ公布スル事件

凡ソ公金ノ消費入稅ノ多寡及發行國債手形ノ  
多寡等ハ逐次ニ之ヲ簿冊ニ記載シ後其要旨ヲ  
按萃シテ國民ニ公告ス殊ニ國債ノ多寡ニ至テ

ハ毎月初日ニ之ヲ公布ス斯ク秘匿スル無ク以テ國民モ亦之ヲ疑ハス

○會計方ヨリ直ニ大藏卿ニ達スル事

議院ノ如キ御輔ノ上官ナキハ其事柄ヲ問ハス總テ其會計方ヨリ直ニ入用ノ書付ヲ以テ大藏卿ニ達ス又大藏省中ノ入用モ亦省中會計方ヨリ直ニ大丞ニ達シ御ニ奏スルナリ

○各省ヨリ會計簿ヲ出ス事

各省ヨリ毎三月ニ其受取タル金高ヲ精算シテ之ヲ検査寮ニ出ス

○新聞紙ニテ請負人ヲ募ル事

政府ノ建物假令ハ焼明臺ヲ新ニ築キ或ハ之ヲ修復スルニ其地ニ出張セル公金受拂役其由ヲ新聞紙ニ出シテ請負人ヲ募ル俾其新聞紙屋ヘ謝儀ハ直ニ其新聞ニ出セル所ノ箇條ヲ紙中ヨリ切抜き請金票ニ貼シテ大藏省ニ出シ然後營繕掛其金ヲ受取遣スナリ

○諸省ニテ破損ノ場所等ヲ營繕スルキノ事

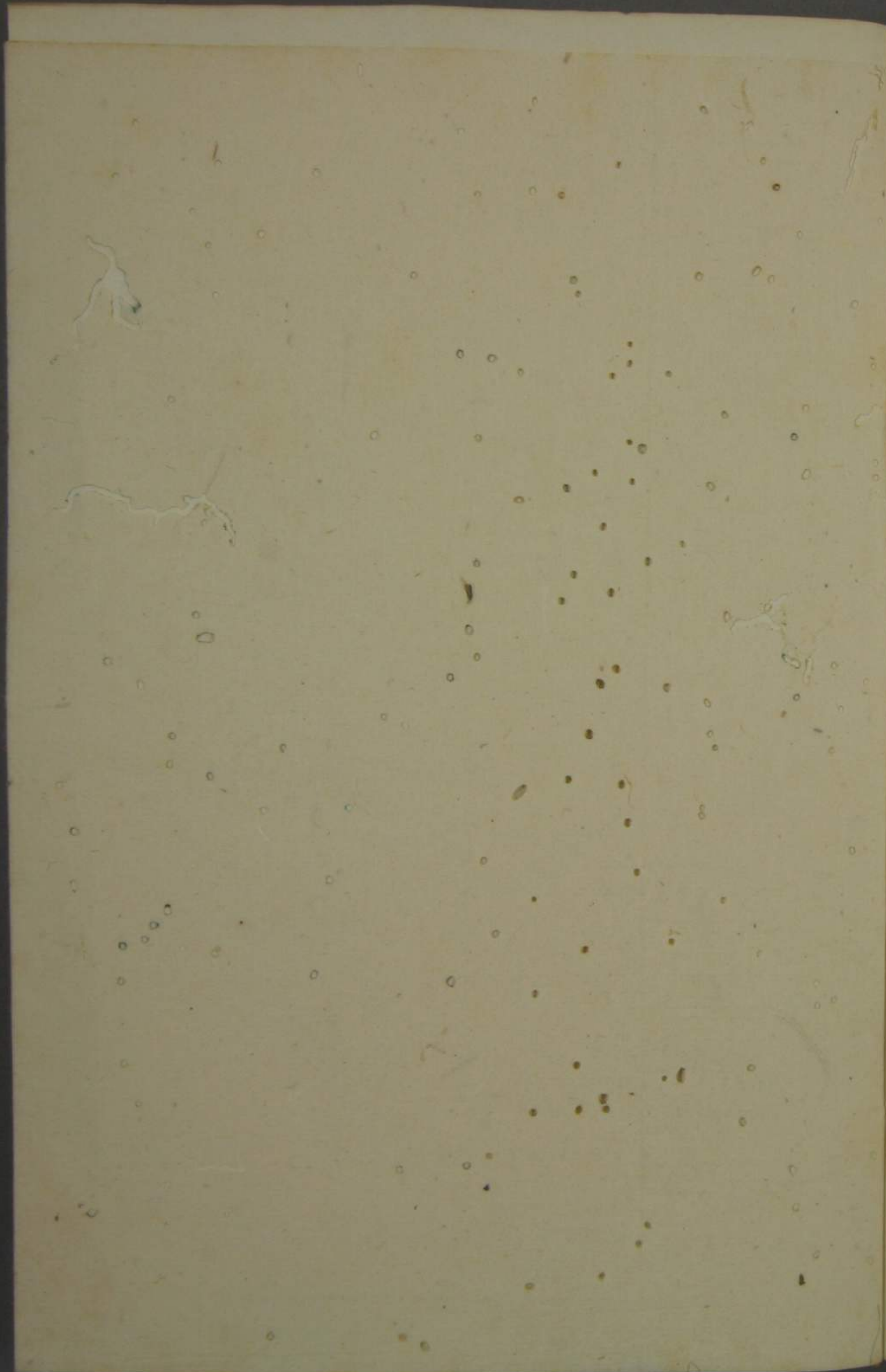
凡ソ諸省ニ於テ破損ノ場所等ヲ營繕スルトキハ更ニ共事ニ就キテノ會計方ヲ命シ一切營繕

事ニ託キテノ會計ハ此人ニ託スルナリ其  
修繕ニ取掛ル前請負人其入用何程ト積書ヲ作  
リ此人ノ許ヲ出シ其中何程ノ手附金ヲ受取タ  
キトト請負人ヨリ願フトキハ此會計方マテ申  
出會計方其仕出シノ作リテ其省ノ御ニ見レ卿  
之ニ添書并ニ檢印シテ大藏卿ノ許ニ遣ハシ出  
金票ノ手續ヲ經テ請負人出納察ヨリ直ニ金高  
ヲ受取ルトヲ得ルナリ又各省新ニ物ノ買入ル  
トキモ平生金高ノ寡キ物ノ外ハ同ク此手續ヲ  
經ルナリ

○各省造營會計方ノ事

此會計方ハ各省中平日之ヲ設ルアリ或ハ其時  
ニ臨ンテ之ヲ命スルアリ大藏省中ニモ已ニ四  
人ノアリ兵部省ニテハクオルトルマストルセ  
子ラール平日買入物ヲ司リ時ニ臨ンテ造營ノ事  
ヲモ司ル此事ヲ司ル者ハ咸ク廉直ノ者ヲ撰ム  
多クハ證人ヲ立テ其入用金程ノ高ノ保償證書  
ヲ出サシメ之ヲ命スト云フ若シ請負人豫算ノ  
外ニ多分ノ金ヲ費ストキハ此會計方之ヲ償ハ  
サルヲ得スト云フカ、レハ此會計方其歲奉一

六 五千串ニ至ルモノアリ事務ノ大小簡煩ニヨ  
ルナリ或ハ臨時ニ命セラル、者ハ一省ノ事ヲ  
竣ヘテ他省ニ備ハル、モアリ最モ物價雇直等  
ノ事ヲ詳ニシ工職ノ事情ニ通セサルヲ得スト  
云

The right page of the manuscript features a large rectangular area defined by a blue border. Inside this border, there are several vertical blue lines that create a series of columns, typical of a ledger or account book. The paper is aged and yellowed, with some small holes and stains visible, particularly near the top and right edges. On the far right edge, there is some faint, vertical blue text, which appears to be a page number or a section header, though it is mostly illegible due to fading and the angle of the page.

